

石油製品小売市況調査

|     | 軽油(円/ℓ) |       | レギュラー(円/ℓ) |       |
|-----|---------|-------|------------|-------|
|     | 6月29日   | 7月6日  | 6月29日      | 7月6日  |
| 北海道 | 161.1   | 161.0 | 170.5      | 170.6 |
| 青森  | 158.8   | 158.6 | 167.8      | 167.7 |
| 岩手  | 154.5   | 154.2 | 165.0      | 165.1 |
| 宮城  | 154.2   | 154.2 | 163.4      | 163.4 |
| 秋田  | 160.4   | 160.4 | 168.8      | 168.9 |
| 山形  | 168.2   | 168.4 | 178.0      | 178.0 |
| 福島  | 160.7   | 159.7 | 172.2      | 171.1 |
| 東北  | 159.2   | 158.9 | 168.9      | 168.5 |
| 茨城  | 155.0   | 155.2 | 165.3      | 165.6 |
| 栃木  | 159.2   | 159.3 | 168.3      | 168.4 |
| 群馬  | 160.9   | 161.0 | 170.0      | 170.2 |
| 埼玉  | 153.2   | 153.4 | 164.1      | 164.4 |
| 千葉  | 154.2   | 154.6 | 166.4      | 166.4 |
| 東京  | 157.6   | 157.4 | 170.4      | 170.6 |
| 神奈川 | 155.5   | 155.6 | 167.6      | 168.0 |
| 新潟  | 162.6   | 162.9 | 171.3      | 171.3 |
| 長野  | 165.3   | 165.4 | 176.1      | 176.2 |
| 山梨  | 155.3   | 155.0 | 167.8      | 167.1 |
| 静岡  | 159.0   | 158.8 | 171.2      | 171.3 |
| 関東  | 157.9   | 157.9 | 169.0      | 169.1 |
| 愛知  | 153.6   | 153.6 | 163.6      | 163.6 |
| 岐阜  | 158.0   | 157.7 | 170.0      | 169.6 |
| 三重  | 158.4   | 158.7 | 167.2      | 167.4 |
| 富山  | 161.7   | 162.5 | 170.5      | 171.1 |
| 石川  | 157.1   | 157.2 | 167.8      | 168.1 |
| 中部  | 157.3   | 157.5 | 167.4      | 167.6 |
| 福井  | 163.3   | 164.2 | 172.7      | 173.6 |
| 滋賀  | 158.5   | 158.7 | 169.6      | 169.9 |
| 京都  | 159.2   | 160.1 | 171.9      | 172.9 |
| 奈良  | 156.5   | 156.6 | 167.0      | 167.0 |
| 大阪  | 158.0   | 158.2 | 169.7      | 170.0 |
| 兵庫  | 155.1   | 155.2 | 164.9      | 165.2 |
| 和歌山 | 156.0   | 155.3 | 168.7      | 168.1 |
| 近畿  | 158.1   | 158.3 | 169.2      | 169.6 |
| 鳥取  | 166.3   | 167.5 | 175.7      | 176.3 |
| 島根  | 166.1   | 165.8 | 174.1      | 173.9 |
| 岡山  | 157.4   | 157.7 | 167.6      | 167.8 |
| 広島  | 159.0   | 159.5 | 168.3      | 168.7 |
| 山口  | 158.3   | 158.6 | 167.4      | 167.6 |
| 中国  | 161.2   | 161.5 | 170.4      | 170.6 |
| 徳島  | 152.3   | 151.8 | 166.3      | 166.1 |
| 香川  | 157.8   | 156.9 | 170.6      | 169.8 |
| 愛媛  | 158.8   | 158.6 | 169.6      | 169.6 |
| 高知  | 161.2   | 161.1 | 174.3      | 174.3 |
| 四国  | 157.3   | 157.0 | 170.0      | 169.8 |
| 福岡  | 159.5   | 157.9 | 170.3      | 168.5 |
| 佐賀  | 158.3   | 158.4 | 169.1      | 169.3 |
| 熊本  | 160.9   | 160.4 | 177.0      | 170.7 |

ポンプ車の前でテープカットに臨むTNSの西口社長(中央)と、ブツマイスターの岡社長(左隣)



TNS「S-RENT」

タカネットサービス(T市西区)はスカニアトラックNS、西口高生社長、横浜 クレンタルサービス「S」

建設現場対応へ体制構築

ポンプ車レンタル開始

R「RENT」に特装車を追加し、建設現場向けにも対応できる体制を構築する。3日にTNS東日本車両センター(栃木県大田原市)で納車式を開催した。建設機械メーカーのブツマイスタージャパン(千葉県八街市)の岡勇樹社長と共に特装車第1号となるコンクリートポンプ車を披露した。西口社長は「今後は取引先から『これしかない』と言われる車も扱いたい。ブツマイスター製品はまさにそうした車両だ」と述べた。S「RENT」はスカニアの最新型車両「SUPER R」を使った国内初のレン

タルサービスで、最長2年間、運送事業者などに車両を貸し出している。今回、ラインアップに加わったコンクリートポンプ車は、ブツマイスター製「ウルトラロングブームコンクリートポンプ車BSF3815・16H」。ブツマイスターはドイツ発祥の建設機械メーカーで、コンクリートポンプなどのトップブランドとして製品を供給している。導入したポンプ車は全長38.5mの5段ブームを装備し、車両総重量25tの規制内では最大級の出力を持つ。国内メーカー製ポンプ車よりも狭い幅でアウトリガーを展開でき、都市部の高層ビル建設工事などで高い需要がある。

納車式で、岡氏は「建設業界では人手不足によって、生産性向上と工期短縮が求められている。高出力



冷凍・冷蔵商品の公称保管能力は従来比2・5倍

川崎で物流スターゼン流通

EC(電子商取引)向け物流プラットフォーム運営のオープンロジ(伊藤秀嗣

金沢工大と山川産業、庫内安全性向上装置

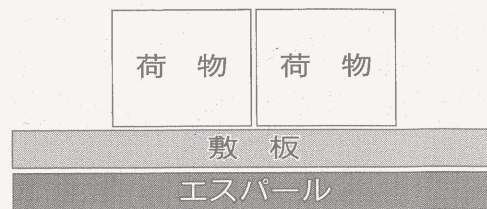
免震構造不要で揺れ低減

荷物の転倒リスク抑制

金沢工業大学は7日、同大学建築学部建築学科の山岸邦彰教授と、産業用高機能砂メーカの山川産業(金本範彦社長、兵庫県尼崎市)が、物流倉庫内の荷物と建物の安全性を飛躍的に向上させ、建築コストの削減も実現するデバイスを開発した、と発表した。従来必要とされてきた免震装置の設置や免震床の敷設をしなくても揺れを低減できる。BCP(事業継続計画)の在り方を大きく変えるものとなる。15日に記者会見を開く。

アルミナ系球状骨材「エムを構築。荷物やパレットを置くための敷板の下にエムを敷き、物流倉庫にとって最適な摩擦係数を有するシステム

既存の倉庫を生かした施工が可能



導入のメリットとして①荷物と建物の同時保護を実現②既存の倉庫への適応が可能③大幅なコスト削減④想定外の大地震に対応⑤物流業界のBCPの根本的変革——が挙げられる。

荷崩れや転倒の抑制だけでなく、上部構造の揺れを抑えることで、建物自体の変形を低減。床下に容易に

設置できるシンプルな造りのため、大規模改修せずに既存の倉庫を生かした施工が可能。さらに、免震構造が不要なため、躯体の重量を5・10%削減できる。メンテナンスの必要もなくなり、事業継続性の向上が見

込める。近年、日本各地で地震発生のリスクが高まり、安全性の確保が求められる一方で、施設の大規模化による建築コストや免震構造の導入コストの増大といった課題が顕在化している。さらに、建設費の高騰もあり、物流業界では倉庫の新規整備自体が経営上の大きな負担となっている。

同技術は、新築倉庫だけでなく既存施設にも適用可能であり、物流施設全体への普及を目指す。今後は、実用化に向け、性能評価・認定取得を進める。

日本市場に本格参入

物流DX推進を支援

レインボーダイナミクス

英ランカシャーが拠点の物流ロボティクス企業Rainbow Dynamics(レインボー・ダイナミクス)の開発や物流コ

ミクス)が、日本市場に本格参入した。日本法人の代表には、WMS(倉庫管理システム)の開発や物流コ

オープンロジ「トラック予測機能」

事業領域拡大を模索

3辺情報集積 情報基盤を構築

ンサルティンクを手がけるロジティン(静岡市駿河区)の田中純夫CEO(最高経営責任者)が就任。自動倉庫システム技術と物流コンサルティンクの知見を融合し「2024年問題」や労働力不足に直面する日本企業の物流DX(デジタ